

④ ワークシートをもとに互いの考えを交流(グループ)する。(10分)

T 「記事の主役を判断した理由をお互いに交流して、グループごとに話し合って、記事の主役とそう考えた理由をまとめて発表します。」

- 予想される反応
- ・ A社は、アユだと思います。アユという言葉が何回も出てきます。
 - ・ A社は、アユだと思います。写真がアユだからです。リード文でもアユが1000万匹をこえたことが書かれているからです。
 - ・ B社は、多摩川だと思います。よみがえった多摩川のことについて本文に書かれているからです。
 - ・ B社は、多摩川に親しむ人々だと思います。写真には多摩川に親しむ人たちに使われているからです。

※記事の主役を判断した理由も含めてグループで話し合い、互いの考えを交流することで書き手の意図を明らかにしていく。その際、グループで話し合ったことを1つ考えにまとめることで、子ども達同士の対話を活発にさせる。(視点2)

★二つの記事を読み比べ、写真や見出しに気をつけて、それぞれの記事の内容を読み取っている。(ワークシート・話し合い)

① 前時の学習を振り、本時のめあてを確認する。(5分)

T 「前は、A社とB社2つの新聞に共通して使われている情報を見つけましたね。見つけていく中で、ちがう所もあるということに気がきました。」

T 「今日は、二つの新聞を読み比べて整理してきたワークシートをもとに、書き手が一番伝えたいことは何かを考えていきます。」

※本時は、子ども達同士や教師との対話を通して、書き手の意図は何かを考えさせたいため、A社とB社の相違点については事前にワークシートでまとめることとした。

② 2つの新聞記事を音読する。(5分)

T 「今日も2つの新聞のことについて勉強していきます。2つの新聞を音読していくよ。」

※教科書の記事の内容に目を向けさせるために、ここでの音読は指名読みにさせる。

⑤ それぞれの記事について、書いた人が一番伝えたいことについて考える。(10分)

T 「A社とB社の記事を書いた人が一番伝えたことは何でしょう。」

※グループで話し合ったことや他のグループの考えたことをもとに、書き手が一番伝えたかったことは何かを考えさせ、ワークシートに書かせる。

T 「A社とB社の写真を入れ替えたらどうかな？」

- 予想される反応
- ・ 写真を入れ替えたら、本文とアユとの関係がなくなってしまう。
 - ・ B社は環境を守ることの大切さを伝えたいと思うので、アユの写真より川でたくさんの人が活動している写真が合っていると思うます。

※教師の発問を通して、写真と本文とを関係付けて書き手の意図に迫るようにする。(視点3)

★二つの記事を読み比べ、写真や見出しに気をつけて、それぞれの記事の内容を読み取っている。(ワークシート・話し合い)

記事の主役は？

A社 アユ？
B社 多摩川？人？

B社		A社
	見出し	
	リード文	
	本文	
	写真	

同じところ

- ・ 一千万匹以上のアユ
- ・ 多摩川からアユが姿を消した時期があった
- ・ アユが帰ってきたのを喜んでる

新聞記事を読み比べよう

書き手が一番伝えたいことは何だろう。

③ 書き手の意図を読み取るための視点を整理し、記事の主役は何かを考える。(10分)

T 「2つの新聞にはどんな違いがあるかをワークシートに事前に書きましたね。まずは、そこをみんなでどのように整理したかを確認していきましょう。」

※書き手の意図を読み取る力を児童につけるために、新聞記事に書かれている四観点(①見出し ②リード文 ③写真 ④本文)の相違点を、対応表を用いたワークシートに記入させる。(視点1)

T 「整理したワークシートをもとに、それぞれ記事の主役は何か。理由も考えてワークシートに書いてみましょう。」

T 「書いた内容をとなりの友だちと説明してみましょう。」

※個人で考えた考えをペアで伝え合う活動を設定して、各々の児童の意見に自信をもたせてからグループの話し合い活動を行うようにする。(視点2)

⑥ 本時の学習を振り返る。(5分)

T 「今日の学習を振り返って、どんなことが分かりましたか。」

⑦ 次時の学習について知る。

T 「次回は、今日まで学習してきたことを活かして、記事と写真に見合った見出しを考えていきたいと思っています。」